２０２１年度「土屋雷蔵賞」が選定されました。

2021年度の「土屋雷蔵賞」が、本日の幹事会において選定されました。2021年11月1１日にWeb発表で行われた土木学会関東支部新潟会主催の「第3９回研究調査発表会」にエントリーされた7部門9３名の発表者（評価対象者）の中から、以下の４名の方が受賞されましたので、お知らせします。

土屋雷蔵賞は、産・官・学の若手研究者・技術者の調査研究を推進・奨励し、地域を支える土木技術者を育成することを目的として、研究・調査の質、スライドの出来、説明技術等が優秀な講演者を対象に表彰しているものです。

第Ⅱ部門　「マイクロ波の反射強度を用いた左右岸水位と表面流速の推定」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大原　由暉

（新潟大学）

第Ⅲ部門　「セメンテーションを与えた砂の再液状化に関する研究」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 塚田　千広

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（長岡技術科学大学）

第Ⅳ部門　「１０ｍ弦正矢への制約が軌道座屈温度の確率分布に及ぼす影響」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　新井　優介

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　（新潟大学）

第Ⅶ部門　「A/O-MBRを用いた生ゴミメタン発酵脱離液の処理」　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　根本　優作

　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（長岡技術科学大学）

新潟会ホームページ

<http://jsce-niigata.com/>

　　　　　　　　　　　 　　　　　　毎日の暮らしを支える大切な土木構造物が52施設！！

「にいがた土木構造物の機能構造物めぐり」としてホームページに紹介しております。

[問合せ先]

公益社団法人 土木学会関東支部新潟会（担当：三澤）

電話　025-285-8886

新潟市中央区新光町６番地１（興和ビル７階）